

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：めぐみ保育園	種別：地域型保育事業（居宅訪問型保育事業除く）	
代表者氏名：佐藤 智子	定員（利用人数）：19名	
所在地：〒233-0007 神奈川県横浜市港南区大久保1-9-13		
TEL：045-349-9742	ホームページ： megumihokuen.yokohama	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2015年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：宗教法人 ウェスレアン・ホーリネス教団		
職員数	常勤職員：5名	非常勤職員：17名
専門職員	（専門職の名称）： 名	
	保育士16名	管理栄養士1名
	栄養士1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	1歳児保育室	ホール
	2歳児保育室	調理室
		トイレ

③理念・基本方針

<理念>

一人ひとりが愛されていると感じ、愛する人を育む

<基本方針>

1. 一人ひとりを見つめ、尊敬・尊重し、抱きしめる、愛にあふれたかわり、かけがえのない命と環境を大切にする保育を目指します。
2. 保護者と地域の子育て拠点となり、楽しんで子育てできるように貢献します。

<保育目標>

- 自分が愛されていることを知り、友だちを愛する子
- やさしい心を持った子
- 身体も心もたくましい子

④施設・事業所の特徴的な取組

<めぐみ保育園の特徴的な取り組み>

1. 毎月、日々の保育の様子を保護者へ販売と同時に公開している
2. 園内研修・職員面談を毎月定例で行い、園の独自性を模索している

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年04月21日（契約日） ～ 2021年11月29日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初 回（年度）

⑥総評

【めぐみ保育園の概要】

●めぐみ保育園は、京浜急行、地下鉄ブルーライン上大岡駅から徒歩5分程度の静かな住宅地に位置しています。めぐみ保育園は宗教法人ウェスレアン・ホーリネス教団（以下、法人という）の経営で、同教団の上大岡キリスト協会と同じ建物内にあり、1階が保育園、2階がチャペル、3階が教会事務所となっています。2階のチャペルは日曜日の礼拝時、行事以外は空間を活用し、団体のバザーや子育て相談を行い、地域と友好的に交流を図り、地域とのミニ・コミュニティを作り上げ、温かい交流を実現しています。

●めぐみ保育園は、小規模保育事業A型の保育園です。めぐみ保育園では、1歳、2歳児を対象とした定員19名（1歳児は9名、2歳児は10名）の保育を実施しています。1人の保育スタッフが担当する子どもの数が少ないため、手厚く、子ども一人ひとりの発達に合った質の高い保育を行うシステムを実践しています。園では、1歳、2歳児の時代に愛着関係が大きく育つことを理解し、真っすぐな人間に成長していく過程を手厚く、温かい援助を行っています。子どもが思い思いに過ごせる環境の中で、子どもは大人を信じ、伸び伸びと成長している姿があります。

◇特に評価の高い点

1. 【園内の課題の取り組み方】

●めぐみ保育園は、施設長と園長が在籍し、2トップで園運営を効率よく展開し、施設長は渉外、園長は園の内部管理を担当しています。施設長は、渉外担当としながらも実に内部を良く知り、課題・解決すべきポイントを明確に把握しています。また、課題の分析により「課題」とする「捉え方」の解析が成されています。例えば、マネージメント面について、「施設長、園長が率先して行う」点はできている、しかし視点を変えると、「職員自らが考えて行動する」という点では「課題」となると考え、施設長等は率先垂範にて、保育室の動線、保管・整理の仕方等の工夫を進めることにより、問題提起、導きを行い、課題1つひとつの発展につなげる等、視点を変えることにより改善を図っています。

2. 【職員の育成の取り組み】

●1項の延長線上として、施設長、園長の率先により課題を見つけ、解決に導いた次として、職員が「課題」を見つけ、自から提起し、スタッフを動かし、課題を解決する動きにつなげたいと考えています。園の定例会議はミニ会議を含め、多く設定されており、限られた時間内で有効的に議論を進める考案として、会議前に事前にテーマ資料を提供し、各自が準備して会議に臨むことにより、効率的に進行が図られ、職員からの提案を実現できる体制を育成しています。

3. 【評価制度の整備】

●職員の資質を高めるために、現在、評価制度の整備に着手しています。毎月、職員との個別面談を定例で実施し、期初の段階で個別目標を提出してもらい、目標に対する進捗を話し合い、助言・指導を行っています。今年度、さらに重点的に実行し、法人契約での社会労務士の協力も得て、評価制度と報酬の関係を明確にすることを含め、検討し

ています。個別面談では、「目標に向ける意気込み」が明確にデータで示せるよう、制度の構築に尽力しています。上記1～3項は、現在進行形でもあり、定着及び成果が見られた評価とは言い難いですが、段階的な取り組みで実現に至り、それにより明確に課題抽出を図り、体質改善への道筋を見つけて取り組んでいる点では大きく評価の高い点と言えます。

◇改善を求められる点

1. 【ICT化の推進について】

●上記の取り組みに比し、ICT化の推進については段階を踏む手順が多くあると考えられます。現在、園全体として紙ベースの書類について問題意識があるのか無いのかを問います。紙ベースで作成された書類を、次のステップにおいてデータとして参考にした実例が見当たりません。例えば、園内の事故・ケガ防止対策、保護者の苦情対策の為に事故報告書やヒヤリハットを活用する、とした場合、保育データの必要・不要の議論からスタートする等、抜本的な対応が必要であり、その上でのICT化の推進と考えます。是非、「課題」の1つとして一考していただくことを期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： めぐみ保育園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

課題が良く見えたこと、今までの振り返りをして成果が感じられたことが良かった。5年後が楽しみに感じた。

<評価後取り組んだ事として>

1. 回覧

2. 自己評価時に職員で改善を考案

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり